

ほけんだより 8・9月

さいたま市立本太小学校 保健室

令和8年8月26日

No. 6

本日、始業式を終え、2学期がスタートしました。夏休みは、元気にすごせましたか？

今年の春から発生しているスーパーエルニーニョ現象の影響で、世界中で高温や豪雨などのニュースが報じられています。9月も厳しい残暑や大雨などに警戒する必要があります。学校では、引き続き熱中症等に気を付け、児童の健康と安全に配慮して教育活動を進めてまいります。

2学期は、3、4年生の水泳学習や館岩自然の教室、修学旅行等の校外学習、運動会、音楽会など子どもたちが楽しみにしていて、かつ、保護者や地域の方々にも、日々の練習の成果や成長を見ていただく大きな行事がたくさん計画されています。

夏休みの疲れが出たり、学校生活のリズムに体が慣れていなかったりする新学期、家庭でしっかり睡眠をとり、疲れを翌日に残さない生活を心掛けてください。

今学期も保護者の皆様には、御協力よろしくお願いします。

学校モードに切り替えよう！



8・9月の保健目標「けがを予防しよう」



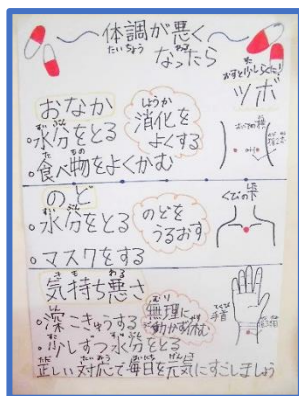
★★保健委員会:7月の取組「健康スタンプラリー」★★

保健委員会の児童が、本太小の児童が健康でいられるように、様々なテーマで調べた健康情報をポスターにして、校舎内8か所に貼りました。

外遊びができない雨の日の30分休みには、スタンプラリーの用紙を持って、1階から3階に貼ってあるポスターを探して、たくさん子どもたちが保健委員の児童の下に集まっていました。



気持ちが悪くなった時・・・
へその横、首、手首のつぼを押す方法など、**大人顔負けの対処方法、よく調べました。**

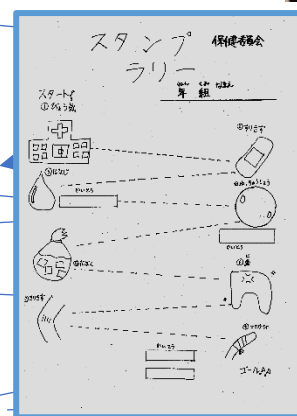


保健室前
びょう気

4の2前
はなち

体育館前
だぼく

理科室前
きり傷



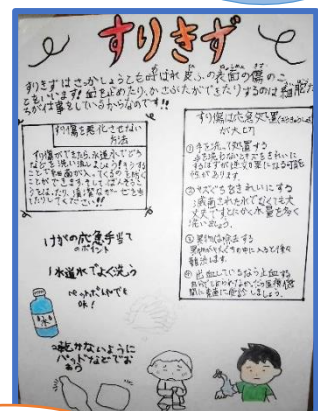
昇降口前
すり傷

3階通路
熱中症

5の2前
菌

3の2前
つきゆび

熱中症の予防や対処法など・・・
30分休みに保健室で当番活動をしている保健委員児童ならではの視点で、みんなにためになる健康情報を伝えていました。



よろしくお願いします。

★お知らせ 【9月7日～10月7日】

埼玉大学教育学部養護教諭養成課程3年 たかのこのみ 高野好未さんが、保健室で教育実習をします。





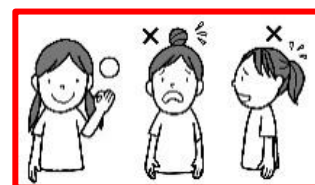
2学期の健康診断の日程



	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	おおぞら
身体計測	9/8(火)	9/7(月)	9/4(金)	9/3(木)	9/2(水)	9/1(火)	9/7(月)
歯科健診	10/15(木)	10/8(木)	10/15(木)	10/8(木)	10/15(木)	10/8(木)	10/15(木)

◎ 身体計測の日には体育着を忘れずに持ってきて、身長を正確に測るため髪型に気を付けましょう。

◎ 歯科健診の日の朝は、いつもよりていねいに歯をみがきましょう。



★9月30日「明日も進むいのちの日」

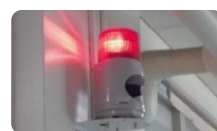
10月1日にAEDの一斉点検や全校児童が校内のAED設置場所の確認を行って、学校の安全体制強化を図ります。

★10月2日「歯科巡回指導 5年生」歯科衛生士が来校し、歯肉炎チェックや歯みがき指導を行います。

★★夏休み中の研修から★★

【救命講習】

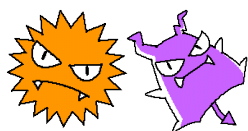
心肺蘇生法や応急処置について、実習をしました。緊急時の救命対応は、誰でもすぐに躊躇なくできるよう、毎年何回も行っています。



1階の異常を知らせるランプ

【不審者対応訓練】

浦和警察署の方を講師に迎え、1階昇降口から不審者が侵入した想定で、児童を避難させ、教職員が協力して児童の安全を図る訓練をしました。手に汗を握る緊張した訓練でした。



気を付けたい感染症

子どもは、免疫が未熟、集団生活などで感染しやすい・・・。

【手足口病】

幼児を中心に流行しますが、大人にも感染します。口の中、手の平、足底などに2～3mmの水疱性発疹ができます。多くは軽症ですが、まれに髄膜炎等を合併することがあります。

いわゆる「夏かぜ」の範囲に入る疾患で、急性期の飛沫感染から、主な症状が消失した後も3～4週間は便からウイルスが排泄されることが知られていますが、学校を長期に休む必要はありません。



【ヘルパンギーナ】

エンテロウイルス属が引き起こす感染症で、高熱とともに、上あごやのどの奥に小さな水疱ができます。

【咽頭結膜熱（プール熱）】

目やに・なみだ目・結膜の充血と浮腫・まぶたの発赤、咽頭の発赤、せき、鼻水などのかぜ症状、発熱などの全身症状をともなう、主としてアデノウイルスを原因とする感染症です。

（出席停止基準：主要症状が消失した後2日を経過するまで）

【溶連菌感染症】

発熱・扁桃の発赤・リンパ節の腫れの他、莓舌（莓のように舌が赤くざらざらした状態になる）特徴があります。適切な薬剤治療を行えば経過は良好です。腎炎などの合併症を防ぐために、処方された薬は途中でやめずに最後まで飲みきることが重要です。

★出席停止になる感染症罹患後は、保護者記入の「受診報告書」を提出してください。

（用紙は、学校ホームページからダウンロードまたは、保健室にあります。）